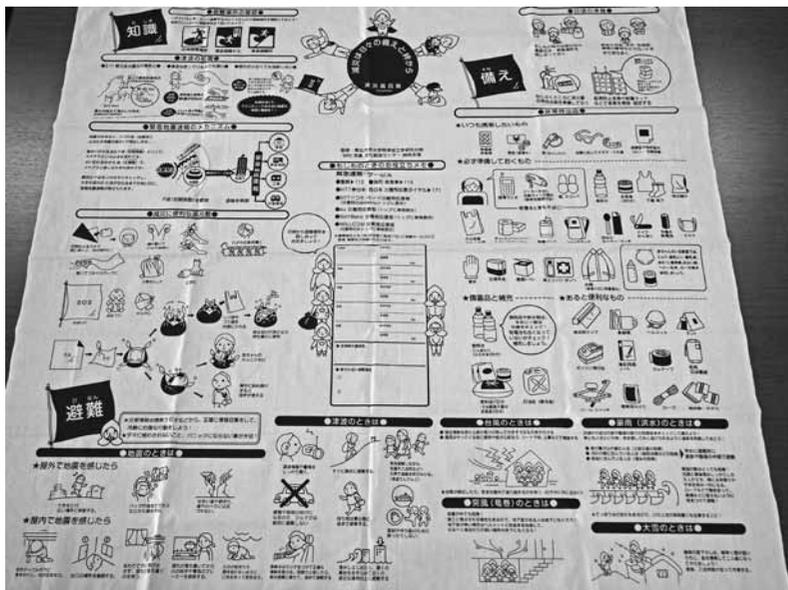


防災対策に減災風呂敷を!



岩井美保子 議員

町長 検討する



減災風呂敷で防災意識を

【岩井】いつ発生するかわからない災害から生命を守るためには、危険を察知したならば、ただちに安全な場所に避難できるようにすることが重要である。

所から一番早く避難できる安全な場所はどこかといった、事前の準備と的確な情報がなければ、迅速な避難はできない。

災害の危険を予測した地図や「減災風呂敷」を作成して、住民に周知することが必要ではないか。

【町長】防災マップは、土砂災害防止法にもとづく県のレッド区域指定を受けて、本町の台風や集中豪雨、土砂災害が発生した場合の危険区域、避難場所などを、避難に必要な情報を記載。あわせて、本町の一部で最大7mの津波がくると想定され、津波の最大浸水深、浸水範囲、海抜表示板位置、避難所などを記載し、全戸配布するように考えている。

【教育委員会】ハード面で学校は地域で最も安全な場所であるべきで、耐震化工事を平成22年度に終えている。

ソフト面では、児童生徒がみずから危険を回避する能力を育てる。大山西小学校が鳥取型防災教育モデル校に指定され、取り組んでいる。

大山診療所の 今後は?

町長 医師の確保に 尽力する



早期の医師確保が待たれる大山診療所

【岩井】財政状況が厳しい中、大山診療所の対応が急がれると考えるがどうか。

【町長】県施策の動向も視野に入れながら、大山町の地域医療の重要性を強く訴え、医師確保に尽力する。